

ぼらき シルバー 人材センター

令和3年(2021年)
秋号 No.124



もくじ

- ドローン活用・起業準備説明会開催 2
“ワクワクドキドキ”体感・ドローンアンケート結果
- 校区代表者会議開催／配送サービスの実情／ 3
理事会だより
- 書道同好会作品展／私の趣味「卓球」 4
- 安全適正就業通信／こども食堂／そばだより 5
- ひろば／事務局だより(秋の奉仕活動・接遇研修) 6
／SLまつりにポン菓子で参加

おおたき

大滝にかかると虹

コロナ禍の先の希望

箕面大滝(日本の滝100選)

写真 倉谷 啓司氏(会員)提供

silver

ドローン事業検討着手!

新規就業先開拓、生きがいづくりにも

テレビの旅番組などで見かける上空からのダイナミックな映像や、最近では東京オリンピック2020開会式での夜空に舞うパフォーマンスなど、すっかりおなじみになったドローン(プロペラ搭載の小型無人航空機)による演出。そのドローンを活用し、シルバーとして新しい事業に取り組もうという動きが始動します。



初めての実機操縦に目を輝かせる参加者

去る8月20日、市福祉文化会館に約100人という多数の関係者が集い「ドローン活用等説明会」が催されました。これは、当初会員対象に「ドローン事業起業準備説明会」と題して呼びかけたところ、あまりの反響の大きさに商工会議所等にも案内して企業や団体、一般市民と幅を広げ、その結果、会員約40人、企業等60人という多数に上り、会場も急遽変更。会員対象の説明会では、新たな就業先開拓のための新規事業に意欲的にチャレンジする姿勢を訴えました。これはシニアの就労支援のみならず、地域貢献や趣味として会員の生きがいづくりにもひと役買うもの。近々ドローン倶楽部を発足し、操作技術向上の場を提供。来年4月事業開始の予定準備が進められます。(川野正照)



ドローンを見上げる出席者

来春本格開始、年内には試行

《具体的な事業内容》

- 空撮：運動会や地域のお祭り、など催事の記録。
- 点検：高所の屋根、家屋調査。
- 防災：災害時の被害状況調査。就業の形態は完全請負で、依頼者の納得・承認で対価が得られることから、何度もやり直しを伴うケースもあり、確認事項の多い事業となります。

《従事者に求められる役割》

事業を展開するにあたり、従事者には次の三点が求められます。

- パイロット：飛行に係わる全般。国土交通省が承認する飛行技術を習得し、申請承認された者。
- 安全管理者：飛行現場での安全管理、危機管理に関する意識が高い者。
- 事務処理者：動画編集や報告書の作成など、依頼者の要望に応えられる高度なテクニック。(田中邦康)

アンケート調査のまとめ

アンケート調査対象(人)	企業市民	回答者(人)			回答率
		男性	女性	計	
	56	20	4	24	41%

ドローンのどんなところに興味があるか?

- 空撮 9名(45%)
- 新分野での活用 9名(45%)
- 災害、将来の乗り物 2名(10%)

説明会の感想

- 初めてドローンに触れ貴重な体験でした。より関心を持つようになった
- ドローンを使って物を運べそうと思いました
- 意外と簡単に操縦できた
- 概要は勿論、いろんな規制があることを知り、為になった
- バッテリーの持ちや、充電時間等の説明が欲しかった
- 大型ドローンも稼働させて欲しかった、風の起こり方など
- その他

意見

- 講習面で自動車学校の合宿免許のような割安感のあるプランが出てこないか?
- シルバー人材センターで講習会を開催してもらえないか?
- 市内にドローンパークを設立し、シルバー人材センターで運営してはどうか?
- 茨木市をドローン先進都市として位置づけできないか?
- アイデアいっぱい、おもしろい、60歳ではないけど運営に携わってみたいと思った
- 学校関係、教育現場への積極的な導入 (後藤政市)

“ワクワク・ドキドキ”を体感!

～説明会に参加して～ 会員 西田 由紀子



ドローン事業起業準備説明会の開催案内チラシを見て、単純にドローンを身近で見ることができ「未知との遭遇」のような、好奇心が湧きました。

シルバーの仕事イコール「地味な仕事」という既成概念の中で、ドローン事業にどう取り組んでいくのか興味があり、参加しました。会場は天井も高く、実機体験会では、ドローンが場内を飛行するのを見たり、実際に操縦をしてみてもワクワク・ドキドキを体感することができました。

ドキドキを体感することができました。近年、ドローンを活用した事業が目立ってきていることについて、わかりやすい説明もあり、勉強になりました。課題も多くあるかと思いますが、このドローン事業はとても魅力的です。また、市民、企業からも多数の参加があり、仕事の増加にもつながると、期待が持てました。今後も、元気がいのある事業の提供をしていただければうれしく思います。



令和3年度第1回 校区代表者会議開催



7月14日、福祉文化会館・文化ホールで令和3年度第1回校区代表者会議が開催されました。

今回はコロナウイルス感染症対策として、ブロックごとに午前・午後と分かれての開催となりました。

北・中央 午前9時30分

東・西・南 午後1時30分

議題として、校区単位(31校区)で行う出張入会説明会、秋・冬のセンター普及啓発活動としてシルバーまつりと秋の奉仕活動について話し合われました。

出張入会説明会

期間 10月～3月

場所 校区公民館、コミセン
校区委員の協力のもと、会員獲得を目指します。

また、秋の奉仕活動(清掃)と冬のシルバーまつりは、今年度は開催の予定です。

ただし、新型コロナウイルス感染症状況によって、会員の安全と健康を第一に考え、中止や延期となる場合があります。(萩原啓輔)

公共の福祉に一役！ 配達・買い物支援 サービスの実情



職員による箱詰め作業(事務所2階ロビー)

3月1日より、茨木市からの依頼で新型コロナウイルス感染症陽性者、濃厚接触者、濃厚接触者認定者の自宅療養者に対して買い物などの支援サービスを行っています。



配達サービス/買い物支援件数の依頼が多く、日用品や食料品などの物品確保に四苦八苦しながら、会員と職員が力を合わせて業務を推進しています。

「支援物資配達記」 万全の感染対策でサポート 大塚 健造

昨年8月に入会して、最初の就業がコロナウイルス感染症の濃厚接触者への支援物資配達でした。

ワクチン接種はまだ先の話で、初めは不安もありましたが、「配達だけで、人との接触はインターホン越しだから」との説明で決断しました。茨木に転居して来たばかりで、土地勘もなく、地図とカーナビだけが頼りの「船出」でした。スタート時の3月は支援の依頼も少なく1日数件でしたが、感染状況が増えるに従い、配達件数も増加しました。

配達では、一方通行や駐車スペース探し、配達先の前まで行けず長い距離を台車で運んだり、時にはエレベーターの無い5階建て住宅に段ボールを5、6個届ける

ハードな日も。しかし、自分たちの先に、心待ちにしている人がいるという一心が、折れそうになる心を支えてくれました。現在は作業にも慣れ、また2名体制になっています。



会員による積み込み作業

「待っている人に少しでも早く確実に届ける」という責任を自覚し、市内のコロナ感染が少しでも早く収束することを願って、業務に従事しています。

今後の感染状況はまだ予断を許しません、事務局と協力して配達サービスでサポートしていきたいと思えます。

理事會だより

令和3年度第2回理事會が7月30日にリモートで開催されました。

▼議題

- センター顧問医師の配置
- ▼ 報告事項
- シニアネットワークいばらき団

- 6月末現在の業務報告及び一般事務報告
- 正会員の入会
- コロナ対策受託事業
- ワクチン接種に伴う職務遂行義務の免除と特別休暇の取り扱い

体代表委員長へ島川理事長が就任
コロナ禍でのリモートによる職員スタッフの助力もあり、スムーズに開催されました。

オンラインピックは終わりましたがコロナ禍は収まる気配はありません。会員の皆様、心に若さを保ちシルバーパワーで乗り切りましょう。

(西村福博)

書道同好会「きらめき」で作品展開催

コロナ禍に翻弄されながらも力作展示

野畑 芳子

◆ 抜かりなくシルバー人材センターのアピールも！

当初、シルバー書道同好会の今年度作品展は、市立生涯学習センター「きらめき」の1階展示コーナーで、5月上旬から中旬にかけて開催する予定でしたが、緊急事態宣言の再発令により、一旦は中止となりました。



展示コーナーでの鑑賞風景

その後、幸いにも同センターから「7月4日から18日までの開催は可能」とのうれしい連絡をいただき、各自、日頃から作成していた力作を額・軸に納めてパネルに掲示したのです。その数約25点。搬入日にはシルバー人材センターの「のぼり旗」も立て、抜かりなくシルバーをアピール。

◆ 作品展開催はみんなの励み！

今までは、天王寺区にある大阪

市立美術館のシルバー展に毎年出展していました。それも中止になり、どうしたものかと思案中に、市の広報誌で募集案内の記事を見つけ、即申し込んだのです。それが奏功して、今回の開催につながることができました。

同好会のみなさんも日頃の練習成果を発表する機会があったほうが、目標も、やり甲斐もあるかと思えます。今後も、シルバーセンターの仕事や趣味などと両立させ、来年の作品展に向けて頑張ります。書道同好会は月2回の例会を持って作品作りをしています。皆様方で毛筆に興味ある方は同好会に参加して作品作りをしませんか。一緒に作品展に出展しましょう。

例会…毎月第2・第4月曜日
場所…シルバー人材センター内
入会希望の方はセンター事務局へ



作品展を終えて記念撮影

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

私の趣味 卓球も自分との戦い！

ちちうま
地頭江 勉



対戦中の私

22歳頃の仕事の休みの日に、本格的腕前の兄に誘われて遊びがてら始めた卓球でしたが、今では公民館や市民体育館を拠点とする各グループのコーチ役を兼ねて活動しています。

◆ ピンポンから卓球に上達

初めはいわゆる「ピンポン」でしたが、一年ほどしてなんとなく卓球らしくなってきたところで、もっとうまくなりたいと、上手な人を見つけては指導を仰ぎ、自分なりに練習してきました。今では各大会に出場しても、上位のほうで戦えるようになり、確実に卓球らしくなってきたと思っています。指導していただいた方々のおかげと感謝しています。

◆ あきらめない勇氣！

各地の試合に出てみて思うことは、どんなスポーツにしろ、また

自分の仕事にしろ、勝利を得るには相手との戦いよりも、自分との戦いに勝つことのほうが大事だということ。東京オリンピックで活躍したアスリート。特に卓球の選手には、どんな言葉で表せばいいのかかわからないぐらいの感動と、最後まであきらめない勇氣をもらいました。

◆ 行く河の流れは絶えずして

私にとって卓球の練習は、集中力や反射神経を鍛えてくれる他に、自分を忘れさせてくれる一番の時間です。また、大会に参加するたびに、友達がいっぱい増えることも大きな楽しみ。今は、健康のため好き嫌いがなく食べて、日々体を動かし、時の流れに身を任せて、川の流れのように過ごしています。ストレスがたまらないように！



茨木公民館「ままちゃり」メンバーと(左から5人目が本人)

安全適正就業通信

安全就業実現への第一歩

- 1 日頃から健康管理を。
- 2 十分な睡眠。
- 3 作業に適した服装。
- 4 始業前には準備体操を。
- 5 作業に必要な道具類は必ず点検。
- 6 周囲の状況をよく見て、自転車・歩行者・車両の確認を。
- 7 急いだり、慌てずに安全第一。
- 8 身の回りは、常に整理整頓。
- 9 仲間との合図・連絡・安全確認の徹底。
- 10 行きも帰りも仕事のうち。交通安全を。

新型コロナウイルスに感染しないためには

- 感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染です。
- 他の人と十分な距離を。
 - 屋内ではこまめに換気を。
 - 会話はマスクをつけて。
 - 電車やエレベーターなどでは会話を慎んで。
 - 作業時・休憩時間など場面が変わっても、引き続き予防対策を。身体に異変を感じたら、早めにかかりつけの医師の診察を受けてください。

注意!

市内の交通事故増加!!

コロナ禍もあり全国的には減少している交通事故死者数ですが、大阪府では昨年より大きく増加しています。うち4割が高齢者ですが、運動神経の鈍化や注意力の衰え、実際に確認せず、思い込みで運転するなど、認知・判断・操作能力の低下が主な原因です。

茨木市内の交通事故は、駅前や幹線道路沿いなど交通量に比例して多発しています。歩行者・自転車は反射材(バンド)を付けて、ドライバーにアピールするのも防止策です。

(茨木警察署・澤井警部補談)



事務所入口での一コマ

事故発生状況

(令和3年6月1日~8月25日まで)

6月9日	清掃作業	就業中	傷害	作業中、洗剤が目に入り左目の炎症と診断。
6月23日	除草作業	就業中	傷害	作業中、顔など蜂に刺される。
6月30日	通学路安全指導	就業上	傷害	現場に向かう際、転倒。右足首の骨にひび。
8月16日	除草作業	就業中	傷害	作業中、植え込みに倒れ込み創傷。

傷害事故	4
①途上	(1)
②就業中	(3)
賠償事故	0
合計	4



(橋口修士)

手打ちそば処・茨木

お盆休みのお昼満席でした 新そばの季節到来!!

7月初めから、店内食を始めた「手打ちそば処・茨木」。

昨年末のオープンからテイファウト営業に専念してきたスタッフにとり、待望の次のステップです。メニューは盛りそば、かけそばに、このほど新しくおろしそばといなりずしが加わりました。どれも昼食を意識した軽めなものです。

その日に提供するおそばは、もちろん当日朝からの打ち立て。緊急事態宣言下と重



いらっしゃい!!

なっていることもあって、お店の前を通りも心なしかさみしく、早く以前の状態に戻ってほしい、というのが関係者の偽らざる願いです。

お盆のある日の正午過ぎ、8席あるテーブルはお客様で全部埋まっていました。おしいかったですよ!ありがとうございます! — ぐちそうさん「またお越しください!」 — そんな会話が交わされるひとときでした。折しも新そばの季節。こだわりの「常陸秋そば」に舌鼓を打ってみるのはいかが?

(川野正照)



満員の店内

こども食堂 夏休みはランチで開催



デザートもついて大喜び

今年度5回目のこども食堂は、子どもたちの夏休みの8月20日金曜日に3部制で開催しました。メニューは、みんなの大好きなカレーライスとポテトサラダです。そして、「らんらん」さんからの差し入れのおいしいポテトやミニゼリーのついたランチとなりました。



今年度5回目のこども食堂は、子どもたちの夏休みの8月20日金曜日に3部制で開催しました。メニューは、

今回は、子ども7人、お母さん1人の計8人の参加でした。コロナ感染の心配もあり、少人数で継続できたなら、と願っています。

女性会、会員、学生ボランティアさんたちの協力のおかげで今回も無事に開催できたことに感謝しています。

次回は10月15日・第3金曜日、16時30分からの予定です。

*「らんらん」…水とお芋の専門店

(田中美弥子)



カレーライス大盛り


皆さんの仲間
(会員数)

8月31日現在	
男	1,070人
女	537人
計	1,607人

第32回・クイズ

体のなぞなぞクイズです！

①からだの中にあつて返事するのは？
②体のどこの具合が悪いの？ときかれて返事をしなかった。どこが悪かったのかな？
(回答はこのページ)



会いたく人に
会えた今日



会員 梅林 孝美

俳句

のっそりと敷居をまたぐ青大将

会員 西村 福博

マスクして喜怒哀楽の無き如く

会員 平野 盈司

絵手紙

ひろば



事務局だより

秋の奉仕活動

普及啓発とつながりを

当センターでは毎年春と秋に行っていた清掃の奉仕活動と普及啓発活動。コロナで昨年春から中止していましたが、今秋より再開する予定です。

清掃の奉仕活動

シルバー会員以外の人にも関心を持ってもらい、地域環境をみんなどで再確認していただきます。

普及啓発活動

チラシ配りを駅前他で行い、当センターのことを、多くの人に知ってもらおう「きっかけ」に。

日時・11月8日(月)午前10時
場所・中央公園北グラウンド

全会員参加の

研修会を開催

社会の信頼と期待に応える

シルバー会員の在り方研修

これからも地域貢献の精神のもと、たくさんの方の業務に携わっていく上で必要なことは何か？をテーマに、全会員を対象に研修を開催しています。すでに申し込みされていますが、10月11日(月)～15日(金)までの参加される日を忘れずにご出席ください。

※時間は14時～15時 ※会員証・筆記用具持参 ※マスク着用もよろしく。

(萩原啓輔)

玉櫛Sしまつり

シルバーも
ポン菓子で参加



8月21日に予定されていたSしまつりは、コロナの緊急事態宣言が発令されたため、中止となりました。しかし、子どもたちのためにポン菓子を配ってほしいという地域の方からの要望があり、当センターは会員の協力を得てポン菓子作りを行いました。

コロナ禍の活動でもあり、ポン菓子配布は21・22日の2日間に分けて事前申し込みのあった子どもたちに、地域関係団体の有志により配布されました。
(丸本宙)

玉櫛Sしまつりに参加して

山下邦子

今年の玉櫛Sしまつりは、約200人の子どもの参加のもと2部制で開催予定でしたが、緊急事態宣言発令で残念ながら中止となりました。

子どもたちに、シルバーのポン菓子と缶バツジ、オーエスワンの粉末をおみやげで配布することになりました。



ポン菓子の袋づめ風景

編集後記

●今年の夏は心が震えました。超人的なオリンピックの真剣勝負をテレビの前で一生懸命応援している自分がそこにありました。日頃より機関紙の取材や編集を通して、いろんな分野に多くの才能豊かなシルバー人材の方がおられることにも関心を覚えています。

センターでも、SMSによる情報伝達の開始や「Zoom」を使ったりリモートでの理事会が試行されています。また、ドローンを活用した事業への準備、説明会も開催されました。近い将来、シルバーの仕事は様変わりしていることが想像できます。

世間へ乗り遅れないように、これまで続けていた水泳以外にも、何か新しいものにチャレンジしたい気持ち湧いてくる今日この頃です。

安全で安心な日常生活がより早く戻ってくることを願っています。

ご安全に
(後藤政市)

副編集 ② ①・②景のトク